

挨拶（返事）のできる常磐南っ子へ！

「おはようございます」	……………	明るい心
「はい」	……………	素直な心
「すみません」	……………	反省の心
「わたしがします」	……………	積極的な心
「ありがとうございます」	……………	感謝の心
「おかげさまで」	……………	謙虚な心



昨年度から機会あるごとに、挨拶（返事）の大切さや意味について、子どもたちに話をしてきました。この令和元年度も、「おはようございます」「はい」をはじめ、いろんな場面での挨拶・返事（+履き物）を本校の課題にしていきたいと考えています。

暮らしの中で、疎かになりがちな挨拶（返事）。しかし、この挨拶の大切さを知ること、学校生活における人間関係、そして様々な効果やメリットがもたらされることとなります。

では、挨拶は私たちの心理にどんな効果やメリットがあるのか考えてみたいと思います。

- ①「人間関係が良くなる」
- ②「笑顔になれる」
- ③「気分が良くなる」
- ④「常識人として認められる」
- ⑤「会話のきっかけになる」
- ⑥「気持ちの切り替えができる」
- ⑦「相手の承認欲求を満たす」
- …………… 等々

このように、人間関係を円滑にしたり、自分の気持ちを向上させたり、笑顔にしてくれたりと、挨拶にはメリットしかありません。すぐにでも実行に移してほしいものです。そして、毎日続けようとする意識が、素敵な挨拶ができる人に変えてくれるはずです。

日本あいさつ検定協会 2017「金賞」 “ アンヨ ハワセヨ ”

日本あいさつ検定協会は、挨拶を通じて家庭や学校、地域を幸せにすることを目指している団体です。この団体は、毎年「新しい挨拶の仕方」を募集し、優秀な作品に賞を与えています。2017年に金賞に選ばれたのは、「アンヨ ハワセヨ」という挨拶でした。これは、韓国の挨拶「アニョハセヨ」をもじったものです。幼児語で歩くことを意味する「あんよ」で1歩、すり足をイメージした「這わせよう」で2歩進むことで、相手と親しくなりたいという親愛の気持ちを表現した作品です。

挨拶は、国が変われば作法も変わります。日本においても、時間帯や相手によって、言葉や形式が変わります。しかしながら、すべての挨拶に共通するのは、相手を尊敬する心、愛する心、相手と仲良くしたいと願う心でしょう。挨拶は、コミュニケーションの基本です。さわやかで明るい挨拶によって、家庭や学校を和やかな雰囲気とチームワークを作り上げたいものです。